

広
報

はちまんたい

hachimantai

12
Dec.2011
No.140

2人の晴れ舞台

(11月18日、市老人クラブ芸能発表会)

Proud!

東日本大震災の復興を支援しよう

Japan

叙勲・褒章 八幡平市から3人が受章

一心に進んだ道に光

政府は11月3日付で23年秋の叙勲、第17回危険業務従事者叙勲、23年秋の褒章を発令しました。八幡平市からは、秋の叙勲（消防功労）で元市消防団長の渡辺東六さん(72)＝駅前二区＝、危険業務従事者叙勲（防衛功労）で元3等陸尉の澤口進さん(61)＝下平笠＝、秋の褒章（業務精励）で農業の立花徳彦さん(64)＝細野＝の3人が受章しました。

渡辺さんは昭和38年に旧西根町消防団に入団。平成14年から旧西根町消防団長、合併後は初代八幡平市消防団長を務め、21年に退団するまでの約46年間、災害現場での活動や団員の育成など、地域消防事業の発展に尽力しました。
「合併後に旧3町村の消防団を一つにできたのが印象に残っている。長い間続けることができたのは、家族や地域、団員の皆さんのおかげ」と振り返ります。
「大きな災害が起きないために、これからはできることをしていきたい」と語る渡辺さんは「地域を守るのには、そこに住む地域の人たち。若い人たちは消防団に入ってもらいたい」と願いました。

23年秋の叙勲
瑞宝双光章
渡辺東六さん
わたなべ・とろろく
「消防功労」元市消防団長
72歳 駅前二区



第17回危険業務従事者叙勲
瑞宝単光章
澤口進さん
さわぐち・すずむ
「防衛功労」元3等陸尉
61歳 下平笠

澤口さんは昭和43年に陸上自衛隊に入隊。平成16年に3等陸尉として退官するまでの36年間、ミサイルやレーダーなどの通信施設を専門に、国内外で国の防衛業務に尽力しました。一番の思い出は、昭和54年に約5カ月間の米国出張勤務。アメリカ陸軍の隊員との交流の中で、英語の重要性を実感しました。「現在はより必要性がある」と語ります。
退官後は、農業委員や西根地区地域審議会委員などを務めた澤口さんは「国のためにやってきたことが認められた。これからも自衛隊と地域をつなぐパイプ役として社会に貢献したい」と決意を新たにしました。

23年秋の褒章
黄綬褒章
立花徳彦さん
たちばな・のりひこ
「業務精励」農業
64歳 細野



もともとはタバコなどを生産する農家だった立花さんは「きれいに咲くリンドウを育てるのを自分の仕事にしたい」と考え、旧安代町で本格的な生産が始まった昭和47年からリンドウ栽培に取り組みました。同57年から平成3年まで10年間、旧安代町農協花き生産部会長を務め、品質の向上と生産拡大に力を注ぎ、日本一の産地を誇る安代リンドウの礎を築きました。
「何も知らないところから一生懸命やってきたので、本当にうれしい」と受章の喜びを語る立花さんは「ミニハウスでリンドウの早出しを進めたい。若い生産者たちの指導にも力を入れたい」と意欲を燃やしました。

CONTENTS

- 目次
- 02 Zoom Up 人 工藤 升子さん
- 03 Front Topics 叙勲・褒章 八幡平市から3人が受章
- 04 PICK UP 夢に向かって 秋谷陸さん・伊藤なのはさん
- 08 震災発生から9カ月 復興支える市民のチカラ
- 09 HACHIMANTAI NEWS 放射線測定結果 ほか
- 10 各課からのHOT LINE 除雪作業に理解と協力を
- 11 Sports 各種スポーツ大会成績、八幡平市でスキーインカレ開催決定
- 12 話題ピックアップ 民国連携森林共同施業団地協定書調印式/男女共同参画フォーラム/老人クラブ芸能発表会 ほか
- 14 福祉ネットワーク 保健のひろば 環境のみらい 介護のココロ
- 15 まちの企業探検隊② 株式会社M・D・エンジニアリング われらスポーツ少年団No.18 寺田野球スポーツ少年団
- 16 博物館だより 図書館だより
- 17 よろこび おくやみ 人口の動き 交通事故件数など 広報クイズ
- 18 INFORMATION お知らせ
- 20 八幡平いにしへの宝 五の平の大イチョウ



自分史「糸の会」会長
工藤 升子さん
くどう・ますこ 81歳 上町

◎profile
昭和5年岩手町生まれ。23歳に結婚後、旧西根町へ。平成4年に自分史「糸の会」を発足し、会長を務める。現在、会員12人。夫、長男夫妻、孫2人の6人暮らし。血液型B型のみずがめ座。

時代とともに生きてきた 「証」つづり続けて20年

20年は本当にあつという間だった。積み重ねた自分史を見て、今まで続けてこられたことがうれしい。10月27日から11月9日まで、図書館で作品展を開いた。20回目となることも、会員それぞれ歩んできた歴史をつづった文章が展示されたほか、新しく1冊にまとまった4人の本が並んだ。
糸の会は、旧西根町で開かれた自分史講座に参加して、興味を持った受講者が集まったのをきっかけに平成4年発足。会員は月1回、糸の会オ

リジナルの用紙に書いた原稿を持ち寄り発表し、お互い感想を述べ合う。原稿は、工藤さんがワープロ編集し、1年分を短編集にする。会員一人一人三元気なうちに1冊を目標で、ことし発行された4冊を含め、これまで11冊の自分史が生まれた。
工藤さんは自分や家族、時代について書く自分史を「時代のトンネルをくぐり抜けながらできた心のひだ、愛おしみながら今を生きる。若い世代に伝えたいもの。書いた後の達成感は一とお」と語る。



今月の表紙

市老人クラブ芸能発表会は11月18日、西根地区市民センターで開催されました。市内各老人クラブの会員は、日頃稽古を重ねた歌や踊りなどを披露しました。【写真＝「隅田川」ならぬ「五百森川」を披露する五百森老人クラブの伊藤洋子さん(左)と工藤典子さん。関連記事135頁】



自分史「糸の会」のメンバー

「カートの世界大会に出場」

秋谷 陸

Riku Akiya

あきや・りく
盛岡中央高校1年
温泉郷

頂点目指すドライバ―
サーキットを駆ける

カ

ートの世界一を決める「CIK-FIA世界カート選手権」は11月10日から13日までの4日間、三重県・鈴鹿サーキット(1周1264m)で開かれた。同選手権の併催レース「アジアパシフィック選手権」(KF2クラス)に、盛岡中央高1年の秋谷陸君が出場した。県内はおろか、北東北3県の選手で出場権を獲得したのは初めてのことだ。

秋谷君がカートを始めたのは4歳のとき。平成12年に父・弘之さんが「八幡平サーキットサンマリノグランプリ」(松尾奇木をオープンさせたとき、カートに載せてもらったのがきっかけだった。「休日はいつも

サーキットで走り込んでいた」と語る秋谷君は練習を重ね、技術を磨いていった。タイムも早くなり、カートの楽しさを覚えていった。6年ほど前からは本格的なレースにも参戦。ステップアップすることで、カートの魅力に引き込まれていった。

今回の世界大会は本来、5月に開催される予定だったが、震災の影響で延期された。8月に参戦に必要なカート国際Bライセンスを取得した秋谷君は、大会出場のコートをかむことができた。

そして臨んだ選手権本番。12日のタイムトライアル(QP)で秋谷君は出場31台中最下位(タイム1150秒793)と出遅れてしまう。実は、KF2クラスのエンジンやタイヤは鈴鹿に来てから初めて使った。ただの「ぶっつけ本番」だった。

「今までのマシンとは全くの別物。排気量が大きく(時速最高140km/h)、グリップ力の強いタイヤに体が対応できていなかった」と秋谷君は語る。それでも、レースが進むにつれて、マシンやコースに慣れていくと、徐々に自分の力を発揮していく。予選(QH)で、29位に順位を上げると、翌日の準決勝(PF)では、他の選手

のタイムが伸びない中、秋谷君はベストラップ49秒526を叩き出し、23位まで浮上する。しかし決勝でスタートがやり直しとなり、再スタート直後の第2コーナーで、後続車に追突されスピン。エンジンは再始動することなく、無念のリタイヤでレースを終えた。

「初めての大きな大会で緊張したがもう少し上位を狙えた」と悔しさをにじませながら「世界を肌で感じるいい経験ができた。100分の1を争うレースでは、一つのミスが結果を左右する。もつと上に行くには、マシンを乗りこなす技術とそれを支える体力や集中力が必要」と秋谷君。まずは、KF2クラスのレースで結果を出し、国際Aライセンス取得を目指す。「一つ一つステップアップしていけばF1という夢も見えてくるはず」。来年の選手権は5月に予定されている。1秒でも速く！。秋谷君の挑戦は始まったばかりだ。

profile

平成7年旧松尾村生まれ。4歳のときに父・弘之さんの経営する八幡平サーキットサンマリノグランプリでカートを始める。盛岡中央高校では、自動車工学科で自動車の専門的な知識を学ぶ。尊敬する人はF1レーサーのイルトン・セナ(故人)。身長165cm。血液型A B型のしし座。柏台小→松尾中卒。16歳。



●CIK-FIA世界カート選手権

FIA(国際自動車連盟)の下部組織CIK(国際カート委員会)主催のレーシングカートの世界選手権シリーズ(KF1クラス)。1964年(昭和39年)イタリア・ローマで初めて開催された。レーシングカートの世界最高峰のタイトルとともに、過去の優勝者には後にF1ドライバーとなる人も名を連ねることから、F1をはじめとするモータースポーツを目指すドライバーの登龍門といわれている。

[全国都道府県対抗中学バレーボール大会県選抜に選出]

伊藤なのは

いとう・なのは 西根中3年 薬師

Nanoha Itou

中学生生活最後の大会 全国の舞台で活躍誓う

名

前を呼ばれたときは、うれしくて涙が出そうでした。全国の舞台に立てるめったにないチャンス。県の代表というプレッシャーはありますが、これまで教えてくれた人たちや両親、選考会合宿のときから一緒に頑張ってきた仲間のためにも、コート上で元気のプレーを見たいです。

12月25日から28日まで大阪府で開かれる「JOCジュニアオリンピックカップ第25回全国都道府県対抗中学バレーボール大会」に出場する岩手県選抜チーム12人に選ばれた。西根中からは昨年の小澤みなみさん（現盛岡市立高1年）に続く2年連続の選出だ。伊藤さんとバレーボールとの出会いは小学校1年生のとき。姉・のはらさんが入っていた田頭バレーボールスポーツ少年団に入ったのがきっかけだ。もともと体を動かすのが好きだったこともあり、練習を積み重ねるうちにうまく

なっていくのが楽しくてしょうがなかった。その気持ちは今でも変わらない。

高校のバレーボール強豪校に進むのを目標に掲げ、西根中バレー部に入部。この年コーチに就任した三田永旬さんの厳しい指導のもと、毎日練習に明け暮れた。技術以上に「周りの人たちへ感謝の気持ちや謙虚な姿勢を持つこと」を学んだ。そして、自分だけの考えや行動ではチームはまともにならないことから、常に「仲間を大事にして、考えながらプレーすること」が大切だということを実感したという。

伊藤さんは、1年生のときからレギュラーとして試合に出場。2年生のときには東北大会出場に貢献したが、「3年生のときに自分が不調でチームも県大会ベスト16で終わったのが悔しかったです」と振り返る。選抜チームは現在、平日は週2回、内陸組と沿岸組のメ

ンバーで分かれて集まり練習しているほか、土日は、チーム練習や県外遠征などを行っている。伊藤さん自身「元気のプレーが持ち味」と話す通り、小川悟史監督（北上市立飯豊中教）から「プレーなのでチームを引っ張ってほしい」と期待されている。

「チームは全国制覇を目指していますが、全国のレベルは高いので、1戦1戦を大切にしたい。とにかく勝ちたい」。震災後、大船渡の避難所などでボランティア活動を行い「復興のために小さなことからできることをしたい」と思いました。私たちのプレーで被災地の皆さんに元気を与えることができれば」と伊藤さん。「バレーボールをしていない自分は自分じゃない。高校でもバレーを続け、春高バレーに出場したいです」と夢は広がる。大阪の地で、伊藤さんの活躍がチームを勝利に導くに違いない。

profile

小学校1年生から田頭バレーボールスポーツ少年団でバレーを始める。ポジションはセンター（県選抜チームではレフト）。西根中女子バレー部では、1年生からレギュラーで、2年生のときには、学校初となる東北大会に出場した。好きな選手はバレーボール女子日本代表の新鍋理沙（V・プレミアリーグ久光製薬スプリングス）。尊敬する人は三田永旬同校女子バレー部コーチ。身長168㎝。血液型A型のふたご座。15歳。

●JOCジュニアオリンピックカップ 全国都道府県対抗中学バレーボール大会

毎年12月下旬から4日間、大阪府で開催される中学生のバレーボール全国大会。中学生バレーボールのレベルアップとともに、将来のオリンピック選手の発掘を目的に開催されている。ほかの大会にはない大きな特徴として、長身選手（男子180㎝以上、女子170㎝以上）を常時2人以上出場させることが競技規則で定められている。

東日本大震災
発生から9カ月

復興支える市民のチカラ

柏台小と野田小の児童たちが交流

体も心の中もポカポカ 体育館に歓声が広がる

「地域が寺小屋プロジェクト・震災復興支援」野田村のみなさんと笑顔でハートフル交流」は11月12、13の両日、市内で開催されました。

この事業は、東日本大震災で被災した子どもたちに笑顔を取り戻してもらおうと、盛岡消費者友の会（村上好き代表）が主催したもので、野田村立野田小学校（高橋啓司校長、児童197人）の児童やそのきょうだいの園児計11人が、保護者9人とともに参加。一行



遠藤久夫さん（写真左端）の指導でそば作りを体験する参加者

陸前高田ふれあい市場が市訪問 組合員の相互交流兼ね 手打ちそばの技を学ぶ

11月8日、農事組合法人陸前高田ふれあい市場（熊谷研代表理事）の組合員42人が、八幡平市「秋の美味しい物堪能」感激ツアーで本市を訪れました。

同組合は、津波で農地が被災した農家のほか道の駅高田松原の物産館など、それまで農産物を販売していた売り場を失った農家をはじめ、陸前高田市、大船渡市、住田町の有志45人が、震災からの再建を誓い設立。6月20日には、産直「陸前高田ふれあい市場」を同市

は、なかやま荘に宿泊してクリスマスリース作りなどを楽しんだほか、13日には、柏台小学校（井上築校長、児童64人）の体育館で、同校の児童12人とふれあい交流会を行いました。

開会行事では、野田小の児童から前日作ったクリスマスリースが、柏台小の児童代表と井上校長にプレゼントされたほか、両校の子どもたちは、それぞれ提案した動物当てゲームや手つなぎ鬼などで遊び、交流を深めました。



仲良く「手つなぎ鬼」を楽しむ子どもたち

義援金・支援金

ありがとうございます
（11月20日まで受け付けした順）

- 【義援金】
- ◆市役所窓口扱い
- ▽1万円 阪尾和子▽5万円 一般社団法人安代リンドウ開発
- ◆銀行振り込み（表記は通帳記載通り）
- ▽1万円 イトウリヨウジ
- ※県を通じて、被災地へ支給されます
- 【支援金】
- ◆市役所窓口扱い
- ▽15万円 浅沢地域振興協議会
- ※市が行う被災地支援活動などに使われる「八幡平市がんばろう岩手基金」に充てられます



浅沢地域振興協議会が地域で集めた支援金15万円を市に贈呈（10月26日）

市内10地点で空間放射線量を測定 全てが指標値を大きく下回る結果に

東京電力福島第一原子力発電所事故に伴い、放射線による人体への影響、特に子どもの健康に対する不安が高まっています。

市は、市内の放射線量の状況を把握するため、各区の代表的な地点を10カ所選び、放射線量の測定を実施しました。測定結果は、全ての場所での指標値を大きく下回りました。

■市内の測定結果 【単位：μSv/h】

測定日 10月6日		
測定地点	線量平均値	
1	大更小学校	0.06
2	東大更小学校	0.08
3	西根中学校	0.04
4	西根第一中学校	0.05
5	松野小学校	0.04
6	寄木小学校	0.06
7	柏台小学校	0.04
8	あしる保育所畑分園	0.04
9	安代小学校	0.04
10	田山小学校	0.04

■測定方法

- ①シンチレーションサーベイメーターを使い、1地点あたり5カ所を測定して、その平均値を算出
- ②子どもたちの生活空間を想定し、保育所や小学校は地上50cm、中学校は1階の高さを測定

■測定結果 左表のとおり実施した全ての地点で、8月26日に国の「福島県内の学校の校舎・校庭等の線量低減について」で示された土の削り取りなどの放射線

量の低減対策を行う目安である1時間当たり1マイクロシーベルト（μSv/h）を下回りました。

市は、今後も同様の空間放射線量の測定を実施する予定です。結果については随時「広報はちまんたい」や市ホームページでお知らせします。

詳しくは、市役所市民課環境衛生係（☎・内線1137）まで。

小山田洋子さん（五日市2区） 市教育委員長に再任される

市の教育委員に小山田洋子さん（59）が五日市2区が11月15日付で再任されました。任期は27年11月14日までの4年間です。

小山田さんは、17年11月から市教育委員で現在3期目。10月26日に開催された定例教育委員会で市教育委員長に引き続き選任されました。



辞命を受ける小山田洋子さん（写真右）

各種統計調査に長年尽力した 2人と1事業所に功労表彰

本年度の統計功労者大臣表彰伝達式が11月17日、サンセル盛岡（盛岡市）で行われ、八幡平市からは、22年国勢調査で宇土澤良知さん（77）と荒屋新町Ⅱ、労働力調査で北館佐之丞さん（77）と畑2区Ⅱが総務大臣表彰を受けたほか、毎月勤労統計調査で積水メデイカル（柳岩手工場）（木村敏行工場長）が厚生労働大臣表彰を受けました。



総務大臣表彰を受けた市統計調査員の宇土澤良知さん（写真左）と北館佐之丞さん

安心な冬道のために
除雪作業に理解と協力を

●詳しくは
市役所建設課管理係(☎・内線2512)

市は、冬の安全な交通を確保するため、市の管理する道路などの除雪をしています。
▼早朝から作業をします
朝の通勤・通学路を確保するため、早朝から除雪作業をします。作業による騒音への理解をお願いします。
▼除雪車に近づかないで
作業はセンターラインを越えて行うこともあります。作業中の除雪車に近づくと危険なので、注意してください。
▼宅地内や周辺の除雪に協力を
除雪車を通った後、玄関先に除雪しきれなかった雪が残ることがあります。宅地入口などは

各家庭で除雪するよう協力ください(そのときには、路面がこぼこになるなど危険なので、雪は道路に絶対出さないでください)。また、屋根からの落雪を防ぐための雪止めを設置しましょう。
排除雪サービスを実施
市建設協同組合では、個人や事業所の皆さんを対象に、有料で屋根の雪おろしや住宅周辺、私道などの除雪をするサービスを行っています。
■料金 左表を参照
■申し込み 市建設協同組合(☎70-2211)まで。

■住宅周辺、生活私道の排除雪サービス料金

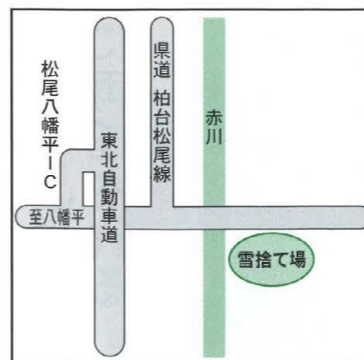
屋根の雪おろし(1人当たり)	
1時間単価	2,000円
1日単価	16,000円

作業・機種	1時間単価	
住宅排除雪運搬	2トﾝ車	6,720円
	4トﾝ車	8,190円
	10トﾝ車	11,025円
ホイールローダ(バケット使用)	小型	12,075円
	大型	18,900円
ホイールドーザ(排土板使用)	小型	14,700円
	大型	19,950円
乗用ロータリ	小型	15,120円
	大型	22,050円
ハンドガイド式手押ロータリ	小型	42,525円
	大型	9,975円

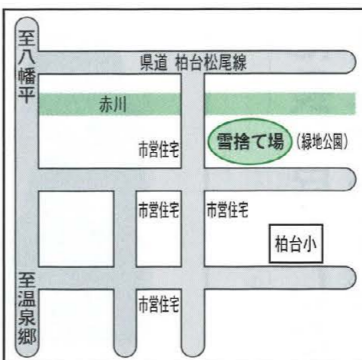
※この料金は、いずれも標準料金であり、地域や積雪の状況、難易度により変更になる場合があります。業者から事前に現地を見てもらい、見積りを確認してから依頼してください。

身近な雪捨て場を開放
市は、西根・松尾地区にそれぞれ市指定の雪捨て場を開放しています。市内に住宅がある人であれば、誰でも利用できるの活用ください。
■雪捨て場所 下の地図を参照
■利用時間
▽西根地区(1) 午前9時〜午後4時(24年3月31日(土)まで)
▽松尾地区(2・3) 午前8時半〜午後5時
※1の雪捨て場は、5トﾝ以上の車両の搬入はできません。チェーンなどの滑り止めを準備してください。

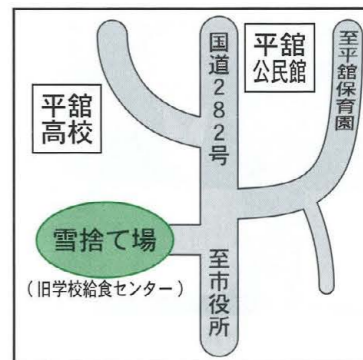
③市道前森線敷地の赤川橋付近



②柏台二丁目緑地公園



①平館地区・旧学校給食センター跡地



市指定の「雪捨て場」

各種スポーツ大会成績

(敬称略・内の数字は順位)

●**県高等学校新人大会**
■テニス(10月6〜8日、盛岡市・県営運動公園テニスコートほか)
【男子】▽ダブルス②日戸祐介(盛岡南1年、西根中卒)ほか
■柔道(10月21・22日、花巻市・花巻総合体育館)
【女子】▽個人78kg級①遠藤真那美(盛岡中央1年、西根第一中卒)
■レスリング(11月5・6日、宮古市・市民総合体育館)
【男子】▽フリースタイル60kg級①伊藤友博(盛岡工業2年、西根第一中卒)▽同66kg級②遠藤貴哉(盛岡工業2年、西根第一中卒)
●**ダンロップカップ全日本選抜ジュニアテニス選手権大会**
県予選会兼東北春季ジュニアテニス大会県予選会(10月8・9日、花巻市・花巻広域公園運動広場コートほか)
【男子】▽シングルス▽14歳以下③福士海渡(西根中1年)▽12歳以下②祖利目大晟(寄木小5年)
※来年3月28日から宮城県で開催される東北大会に出場



東北春季ジュニアテニス大会出場をつかんだ福士海渡選手(西根中1年、写真左)と祖利目大晟選手(寄木小5年)

●**東北高等学校選抜大会**
■相撲(10月15日、宮城県登米市)
◇個人▽100kg以上級④上山陽平(盛岡農業1年、西根中卒)
●**東北高等学校新人大会**
■カヌー(10月22・23日、福島県二本松市)
【男子】▽カヤックフォア④不来方(齋藤弘希)1年、安代中卒(ほか)
●**県A・B級ダブルステニストーナメント**(10月22・23日、北上市・和賀川グリーンパークテニスコート)
【女子】▽一般A級⑤小野寺晶子・伊藤泰子組(はちまんだいTC)③中村まき子・小野明子組(はちまんだいTC)
●**県ポルダリング大会**(10月23日、盛岡市・県営運動公園ポルダリング場)
【男子】▽ミドル一般②石坂晋哉(安比高原)
【女子】▽ミドル一般②高橋真由美(下町一区)▽エキスパート一般②畠山千怜(両沼)
●**全国ジュニアサマーノルディックスキー大会**IN鹿角兼鹿角サマーキャンプ・コンバインド大会(10月28〜30日、秋田県鹿角市)
■スペシャルジャンプ
【男子】▽成年③小林潤志郎(東海大2年、松尾中卒)
■コンバインド
▽一般②永井秀昭(岐阜日野自動車、田山中卒)▽中学生②小林陵侷(松尾3年)
■ローリースキー
【男子】◇スプリント1kg▽小学3・4年⑥吉田優翔(田山)▽同1・2年①安保翔(田山)②安保瑠梓(田山)◇デイス

全日本学生スキー選手権大会(インカレ)
ノルディック種目を八幡平市で開催
第85回全日本学生スキー選手権大会(インカレ)のノルディック種目(クロスカントリー・スペシャルジャンプ・コンバインド)が八幡平市で代替開催されることになりました。これは、本来開催予定地の新潟県妙高市が開催辞退したため、(社)全日本学生スキー連盟から打診を受けて決まったものです。同大会は、21年に開かれた第82回大会以来、3年ぶりの開催になります(アルペン種目は雫石町で開催)。これで、4年連続で全国規模のスキー大会が開かれる八幡平市。今シーズンも八幡平市を舞台に、全国の選手が熱戦を繰り広げます。期日 24年2月25日(土)から29日(水)まで
■会場
▽クロスカントリー 田山クロスカントリーコース
▽スペシャルジャンプ・コンバインド 田山スキー場

ンス▽小学4年3kg④吉田優翔▽同1・3年1kg⑤安保翔⑥安保瑠梓
【女子】◇スプリント1kg▽小学生5佐藤朱莉(田山2年)▽小学5・6年⑤佐藤優侑(田山)▽同3・4年②関柚月生5kg⑤佐藤朱莉▽小学4年3kg④関柚月
●**東北春季ジュニアテニス大会**県予選会(10月29・30日、盛岡市・県営運動公園テニスコートほか)
【男子】▽シングルス▽18歳以下⑤日戸祐介▽16歳以下④渡辺大樹(西根中3年)⑤伊藤寛太(西根中3年)
※来年3月28日から宮城県で開催される東北大会に出場
●**全国高校柔道選手権大会**県大会(11月12・13日、盛岡市・県営武道館)
【女子】▽個人無差別級③遠藤真那美
●**県中学校新人大会**
■柔道(11月19・20日、久慈市・市民体育館)
【男子】▽個人81kg級③高橋幸輝(西根第一2年)



工藤勝博県議会議員(写真右端)の発声で乾杯する出席者の皆さん

節目祝い一層の飛躍誓う

J A 新いわて西部地域花卉生産部会40周年

J A 新いわて西部地域花卉生産部会創立40周年記念大会は11月16日、新安比温泉静流閣で開催されました。大会では、高村敏彦部会長が「今後もリンドウ供給責任産地として他の追随を許さない産地を築くため、部会員一丸となり頑張りましょう」とあいさつしたほか、八幡勉副部会長がこれまでの経過を報告しました。大会に続いて祝賀会も開催され、リンドウ生産者や全国の生花市場関係者など約270人の出席者は、杯を交わしながら今後一層の飛躍を誓い合いました。

いきいき元気に熱唱熱演

八幡平市老人クラブ芸能発表会

市老人クラブ芸能発表会(市老人クラブ連合会主催)は11月18日、西根地区市民センターで開かれました。この発表会は、お年寄りの生きがいづくりと交流を深めるために行われているもので、今回で6回目になります。舞台では、そろいの衣装を身に付けた市内老人クラブの会員が日頃練習してきた自慢の歌や踊りなど36演目を披露。仲間の晴れ姿を楽しみに会場を訪れた約360人の観客から大きな拍手を受けていました。



間羽松老人クラブは踊り「祝い時雨」を披露

楽しみながら地域に貢献

歳末たすけあいチャリティー芸能大会

歳末たすけあいチャリティー芸能大会(安代地区社会福祉推進協議会主催)は11月20日、安代地区体育館と田山小学校体育館の2会場ですれぞれ行われました。会場は、園児や小中学生のお遊戯や合唱、婦人会や地域の有志による民謡や舞踊、寸劇などで盛り上がったほか、みそ付けたんぼやそばなどのバザーが出店され、訪れた人たちの人気を集めました。来場者から寄せられた募金やバザーの売上金の一部は、歳末たすけあい運動などに活用されます。



お遊戯「ガツガツ」を披露するあしる保育所の園児

森林資源を地域に生かす

民団連携森林共同施業団地協定書調印式

市と岩手北部森林管理署、浄安森林組合による「森林共同施業団地」協定書調印式は11月10日、市役所で行われました。同協定では、安代地区田沢地内の国有林約52%、市有林15%、浄安森林組合管理の民有林約13%の計約80%を森林共同施業団地に設定。平成26年度まで3者が協力して、効率的な作業路網の開設や計画的な森林整備に取り組み、低コストな森林経営を推進するもので、県内では初の協定締結になります。



協定書に調印後、握手を交わす(左から)田村正彦市長、野藤昌弘岩手北部森林管理署長、島山紘一浄安森林組合代表理事組合長

幻想的な調べ聴衆を魅了

シロ・エル・アリエーロさんコンサート

ニューヨークを拠点に世界的に活動する南米の民族音楽フォルクローレ奏者シロ・エル・アリエーロ(本名=大竹史朗)さんのコンサートは11月12日、アサンブレ・オクトホール(八幡平温泉郷)で開かれました。アリエーロさんは、金沢清水にまつわるアイヌ伝説をもとに作曲した「マトーコタンの物語〜泉に消えた恋」や岩手の美しさに魅せられて作った組曲「ナンブ」の「南部幻想曲」などを演奏。約120人の観客は、会場に広がるギターのリズムと歌声を堪能しました。



表情豊かにフォルクローレを演奏するシロ・エル・アリエーロさん

災害を機に改めて考える

八幡平市男女共同参画フォーラム

第5回市男女共同参画フォーラム(市男女共同参画ネットワーク主催)は11月13日、安代若者センターで、市民など約100人が参加して開催されました。基調講演で田野畑村教育委員会の工藤ヒロ氏が「災害復興にふみ出す私たちの第一歩」と題し、震災後の村の様子などを紹介。パネルディスカッションでは、田村正彦市長など5人のパネリストが、震災後のそれぞれの活動から、男女共同参画社会を見据えて、市を災害から守るためにできることなどが議論されました。



「災害・私たちが守る八幡平市」をテーマに、それぞれの立場から意見が交わされたパネルディスカッション

すなっぷギャラリー



「岩崎春雄さん(写真左)の指導で、稲束を注意深く脱穀機にかける児童たち」(11月17日、大更小5年生61人が脱穀体験)



「ハンガリー伝統打楽器の響きに酔う」(11月13日、フォレスト+で、斉藤浩ツインパロンコンサート)



「いらっしゃいませ、アイスは一つ100円です」(11月10日、奇木保育所でおまつりごっこ)



「時折小雨が降る中、一斉にスタートする参加者」(11月6日、市クロスカントリー大会兼市スポーツ少年団駅伝祭り)



「特別招待した沿岸の4チームに激励金が贈られました」(10月29日、西根ライオンズカップ争奪ミニバスケットボール大会)



紹介者
加工技術グループ **小野寺学** さん

▼**どんな会社ですか**
カメラや自動車などのプラスチック部品を金型で製造（射出成形）している会社です。金型の製作から射出成形加工までを一貫して行っています。作られる製品には、米粒よりも小さいものもあるんですよ。

▼**今後の展望は**
お客さまの「安くてイイもの」というニーズに応えた製品を提供し、知識と経験を兼ね備えた職人集団を目指していきたいですね。

▼**この仕事の魅力は**
モノ作りが好きなので、部品が金型になり、そこからできる製品が形になっていく姿には達成感を感じます。この仕事をすることで、物の見方が変わりました。

▼**仕事で心掛けていること**
安全第一で仕事をするのはもちろん、納期を守り、お客さまが満足する品質の高い製品を完成させるため、一つ一つ部品を作り上げることです。

▼**どんな仕事をしていますか**
直径1ミリの小さいワイヤー線を、1000分の1ミリの単位で部品加工をしています。また、加工技術グループの進捗状況の管理もしています。

まちの企業 探検隊 ⑳

(株)M・D・エンジニアリング

企業人による会社紹介

所在地 田頭21-53-21
資本金 300万円
代表者 田村 誠
設立 平成9年2月
従業員数 17人
電話番号 ☎75-0772
事業内容 精密金型・部品などの設計、製作、販売、射出成形品の販売
主な取引先(順不同) ㈱ニュートン、㈱マイクロトップ、アルプス電気㈱など

No. 18
寺田野球
スポーツ少年団

寺田野球スポーツ少年団は、昭和54年4月に活動を開始しました。今シーズンは、全国スポーツ少年団軟式野球交流大会県予選（いわての牛乳杯）でベスト16に入りました。

現在は、小学校2年生から6年生まで23人が所属。キャッチボールやトスバッティングなどの基礎練習を行うほか、毎年市内外のチームを集めた「七時雨杯野球大会」を主催し、試合を通じて交流を深めています。

活動を通じて団員には、あいさつや道具を大切にすることも、一生懸命やることの大切さを伝えていきたいです。

■練習日時・場所
【4〜10月】 毎週月・火・木・金曜日、午後4時から6時まで、寺田小学校校庭（土日は練習試合など）
【11〜3月】 毎週火・木曜日、午後6時半から8時半まで、寺田小学校体育館

詳しくは、寺田野球スポーツ少年団指導者・遠藤明広（☎0901878310151）まで。



「明るく、元気な少年団」をモットーに活動している団員



11月13日のバット納めでは、育成会の人たちと試合を行いました

わたりのスポーツ少年団

適切な運動と食事管理で冬太りを予防しましょう

◆**冬の運動のポイント**
運動するときは、風を通しにくい服や手袋、帽子を着用しましょう。暑くなったら脱げるよう、重ね着がいいです。運動前には準備運動を十分にを行い、体を温めて始めます。運動後には整理体操をして、疲れを残さないようにします。また、寒いと、のどの渴きを感じにくくなる場合があります。のどが渴いたと感じた時には脱水が始まっている可能性があります。外出時には水やお茶を持参し、外出時と帰宅時には水分を補給し、のどの渴きがなくても、こまめに水分補給しましょう。

◆**お薦めは「ウォーキング」**
1日1万歩以上歩くことと生活習慣病予防に効果的といわれますが、実際の1日平均歩数は、20歳以上の男性で7011歩、女性が5945歩です（平成20年度国民健康・栄養調査）。まず歩数計で1日の歩数を計り、普段の歩数より少し多く歩いてみましょう。

■**歩数を増やすコツ**
歩数の目安は10分1000



冬には室内での運動も効果的です

歩。無理に外を歩かず、室内での足踏みも効果は同じです。①普段より少し早く歩く②買物のときは少し遠くに車を停める③整理整頓や拭き掃除でこまめに体を動かすなど、今の生活に少し運動をプラスしてみてください。

なお、体調が悪いときは運動を中止し、持病がある人は主治医に相談しましょう。

◆**食事をしっかり取る**
冬の旬の食材は、体を温める効果があります。1日3食きちんと食べましょう。特に朝食を取ることで、体も温まった状態になります。運動と食事ですべてを温めて、冬を健康に過ごしましょう。

保健のひろば

☎・内線1151 市役所保健課

環境のみらい

福社 NETWORK

☎・内線1137 市役所市民課



処理費用は原因者負担。十分注意しましょう

介護のココロ

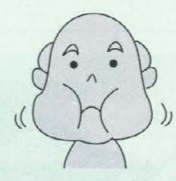
☎・内線1181 市地域包括支援センター

◆**口の中（口腔）は元気の源です**
口（口腔）は、食べる、話す、笑うなど、元気で楽しい生活を送るための大切な機能を持っています。しかし、高齢になると「歯の数の減少」「だ液の分泌が減る」「飲み込む機能が衰える」などの理由で口腔機能が低下します。食事をおいしく感じなくなるだけでなく、うまく話せなくなるなど、楽しい生活を送れず笑顔が減ってしまうこともあります。

■**やってみよう口腔体操**
次のような口腔体操を毎日行って、いつまでも元気に過ごしましょう。

- ①口を閉じたまま、頬をふくらませ（「う」たり、すぼめたりする。
- ②口を大きく開け、舌を出したり引っ込めたりする。
- ③舌を出して上下、左右に動かす。
- ④口を閉じて、口の中で舌を上下、左右に動かす。

介護に関する相談は、市地域包括支援センターで受け付けています。お気軽に問い合せください。



◆**油漏れを防ぎましょう**
毎年、油が水路などに流れたという通報が寄せられます。その多くが、給油中に電話がかかってきたなどの理由で、つい目を離れた際に発生しています。冬は灯油を使う機会が増えます。他人事とは思わず、次のことに注意しましょう。

- ①ホームタンクを固定し、必要に応じて防油堤を設置する（落雪がある所や、水路付近にホームタンクを設置するのは避けてください）。
- ②給油の時は、絶対にその場から離れない。給油後はバルブ栓をしっかり閉める。
- ③除雪時にタンクや配管を破損しないよう、雪囲いや目印などを設ける。
- ④定期的に点検し、破損や異変には早期に対応する。河川を汚してしまうと、元の状態に戻すために多くの費用と時間がかかります。万が一、油漏れを発見した場合や油漏れを起こした場合は、市役所や消防署などに至急通報してください。

健やかに

(太字は男の子)

- 澤口 緒亜 (透・絵里子/松川)
葛 愛怜 (文世・杏奈/中松尾)
阿部 藍凛 (俊信・由貴/田山上)
深野 莉歩音 (賢一・富二子/帷子)
井上 楓雅 (淳一・早苗/山子沢)
田村 海斗 (充・春美/駅前二区)
田村 惠恋 (真一・美穂/山後)
畑 友来 (尚信・沙織/五百森)
國司 菜穂 (功・真美/中平等)
宇部 雅希 (芳喜・美香子/両沼)
川畑 蘭華 (亮輔・愛美/両沼)
伊藤 晃星 (晃・かよ子/高宮)
高橋 照太 (照芳・瑠美子/松川)
平野 花恋 (博光・真由美/間羽松)
田村 夢月 (俊・沙織/上野駄)
岩間 悠臣 (雅利・由美子/松尾)
高橋 優莉 (勝元・幸子/上町)

- (佐々木 航 /野口
熊谷 李捺 /上寄木
石川 太 /松川
伊藤 紅香 /松川
高橋 智幸 /柏台三丁目
中軽米久美子/柏台三丁目
松村 勉 /北村
千葉 郁子 /北村
武田 亮 /山子沢
藤田 江里 /盛岡市)

安らかに

- 遠藤 吉子 51歳 帷子
鈴木 マサ子 86歳 駅前二区
竹田 由松 78歳 渋川
高橋 勝治 73歳 上平笠
高橋 庄七 79歳 東
伊藤 幸男 45歳 駅前二区
北郷 キミ 91歳 下町一区
小笠原 スエ 98歳 五日市3区
畠山 イツ 84歳 大石平
岩崎 クニ子 85歳 駅前二区
田村 富夫 76歳 野口

- 大坊 カネ 94歳 柏台二丁目
齋藤 信一 90歳 浅沢第2
佐藤 茂 81歳 石名坂
田鎖 忠重 76歳 秋葉
滝川 三郎 82歳 野口
齋藤 豊彦 84歳 浅沢第2
伊藤 良一 61歳 笹目
安保 未吉 87歳 田山上
畠山彦右工門 94歳 上関
高橋 直 78歳 南平笠
仙木 サダヨ 83歳 南寄木
高橋 菊太 74歳 桃沢
岩崎 ノブ 98歳 山後
佐藤 康悦 72歳 秋葉
日戸 オリ 93歳 渋川開拓
瀬川 正彦 76歳 町組
柴田 誠 62歳 秋葉
高橋 ミチ 88歳 中沢

※掲載は届け出順で、届け出人が希望した場合だけ載せています。(敬称略)

お幸せに

- (中村 渉 /東
田村 真紀子/畑)

■人口の動き【10月31日現在 ()は前月比】

Table with 3 columns: 地区, 人口, 世帯数. Rows include 西根地区, 松尾地区, 安代地区, 合計, 男性, 女性, and birth/death/migration data.

■交通事故件数など ※累計は1月からの合計

Table with 4 columns: 項目, 9月, 10月, 累計. Rows include 人身事故, 物損事故, 負傷者, 死者, 飲酒運転, 火災, 救急.

No.75

広報クイズ 12月1日号の問題

西中女子バレー部 伊藤なのはさんが 出場する大会名は

正解者の中から抽選で3人に500円分の図書カードをお贈りします。
◎応募方法 はがき、FAX、メールに「答え、住所、氏名、年齢」を書いて応募してください。
◎応募先 八幡平市役所「広報クイズ係」 ☆はがき〒028-7192(住所不要)
◎応募期限 12月20日(必) 消印有効
◎第74回の正解 「36枚」 ◎応募者数 12人 ◎正解者数 12人
◎当選者 武田高子さん(大更)、工藤美佳さん(野駄)、遠藤良友さん(川原)



MUSEUM 博物館 だより

博物館 TEL63-1122・FAX63-1123

博物館文化講座を終えて

◆文化講座閉講

県立博物館学芸員による文化講座が終了しました。7月23日開催の第1回講座では、平泉文化遺産の世界遺産登録を記念し、阿部勝則専門学芸員が「世界遺産と平泉」と題して講演を行いました。



世界遺産について語る阿部学芸員(第1回)

講演では、世界遺産とは何か、世界遺産になるための条件、平泉文化遺産が登録された価値基準を分かりやすく解説していただきました。今後の課題として、柳之御所遺跡などの追加登録や保存管理、世界的には未知の平泉をどう宣伝普及させていくかなどの問題点を挙げました。

8月27日に開催された第2回講座では、「八幡平市の植物について」と題し、鈴木まほろ専門学



熱心に耳を傾ける参加者の皆さん

芸員が講演。八幡平の植生に関し、新発見した植物の紹介と、今後における新品種発見の可能性について、自身の経験を踏まえて語りました。新品種発見とは逆に、消えゆく植物(絶滅危惧種)を憂い、その対応について助言され、その原因は地球上の環境変化が大きいと訴えました。

10月22日開催の第3回講座では、瀬川修主任専門学芸員が「南部絵暦と旧暦について」と題し講演。地元田山地方で使われていた暦だけに、先人の苦勞の中から生み出した知恵と工夫に敬意を払い、その読み方や解釈を詳しく学びました。

LIBRARY 図書館 だより

図書館 TEL75-1700・FAX75-1701

冬の図書館行事を紹介

干支あみぐるみ教室

恒例「干支あみぐるみ教室」を開催します。来年の干支「辰」のあみぐるみを作ってみませんか。詳細はお問い合わせください。

- 日時 12月9日(金)・11日(日)、午前10時から午後3時まで
■定員 先着15人

冬の映画会&おはなしのじかん

クリスマスの映画や年越しのお話をみんなで楽しみましょう。

- 日時 12月25日(日)、午後1時半から
■上映作品 「クリスマスキャロル」ほか
事前の申し込みは不要です。映画会に引き続き、午後2時半から「おはなしのじかん」を行います。

冬休み工作教室

楽しく遊べるおもちゃを作ります。詳しくは図

書館へお問い合わせください。

- 日時 24年1月7日(土)、午後1時から
■定員 児童先着15人(保護者同伴可)
期間限定で貸出冊数が2倍に

年末年始の長期休館を前に、貸出冊数の上限を10冊までとします。(視聴覚資料および松尾・安代公民館図書室の資料を除く)

- 期間 12月14日(水)から26日(月)まで
読書マラソンラストスパート

読書マラソンは24年1月9日(月)で終了します。期日までにファイルの提出をお願いします。

松尾図書室が臨時休館します

松尾地区公民館図書室は、新施設への引っ越し作業のため臨時休館しています。休館中は資料の貸し出しができませんのでご注意ください。

- 休館期間 24年1月4日(水)まで

自死で家族失う悲しみや 思いを語り合いませんか

家族を自死で亡くされ深い悲しみを抱える遺族の皆さんが、同じ体験を持つ人と出会い自分の思いを語りあう場として、公開講座と交流会を行います。

- 日時 12月17日(土)、午前10時から午後3時まで
 - 場所 いわて県民情報交流センターアイーナ6階団体活動室
 - 内容 講話「ともにいきる」、自死遺族交流(講話は誰でも参加可能、遺族交流は遺族のみ対象)
 - 申込期限 講話は12月9日(金)、自死遺族交流は12月14日(水)
- 詳しくは、県精神保健福祉センター(☎019-629-9617)まで。

ひとにやさしい駐車場 利用証発行しています

県では、駐車場の利用に制約がある人に「ひとにやさしい駐車場利用証」を発行しています。

- 交付対象者 障害者手帳がある人(一部対象外あり)、要介護認定を受けている人、難病で特定疾患医療を受けている人、妊産婦など
- 詳しくは、盛岡広域振興局保健福祉環境部(☎019-629-6565)まで。

年末年始のくみ取りは 業者への依頼お早めに

年末年始はくみ取り依頼が集中し、迅速な対応が困難です。業者への依頼はお早めをお願いします。詳しくは、盛岡北部行政事務組合(☎74-2716)まで。

家畜の飼養状況報告 義務化になりました

毎年1回、家畜などの飼養状況を家畜保健衛生所に報告することが義務化されました。口蹄疫や高病原性鳥インフルエンザの被害を繰り返さないため、次の動物を所有する人は、飼養数の多少に関わらず、必ず報告をお願いします。

- 対象 牛、水牛、メンヨウ、ヤギ、鹿、豚、イノシシ、馬、鶏類、アヒル、ウズラ、キジ、ダチョウ、ホロホロ鳥、七面鳥(本年度は10月1日現在の飼養頭羽数)
 - 報告期限 12月15日(木)
 - 報告先 県中央家畜保健衛生所(報告様式は、県中央家畜保健衛生所、市役所農政課にあります)
- 詳しくは、県中央家畜保健衛生所(☎019-688-4111)、市役所農政課畜産係(☎・内線1613)、JA新いわて八幡平営農経済センター(☎75-1111)まで。

クリスマス会や門松作り フォレストiで行います

フォレストiでは、年末年始関連行事を次のとおり開催します。

- ◎クリスマス会(先着50人)
 - 日時 12月11日(日)、午後0時50分から午後3時まで
 - 参加料 500円(子どものみ)
 - ◎ミニ門松作り(先着30人)
 - 日時 12月23日(金)、午前8時50分から午後3時まで
 - 参加料 3,000円
- 詳しくは、森林ふれあい学習館フォレストi(☎78-2092)まで。

高齢者肺炎球菌ワクチン 接種に要する費用を助成

日本赤十字社、県医師会および県では、高齢者に対する肺炎球菌ワクチン接種費用を助成します。

- 対象 県内に住む人で、24年3月31日(土)までに70歳以上になる人
- 接種料金 無料
- 接種期間 24年3月31日(土)まで
- 場所 県内登録医療機関(市内登録医療機関は下表のとおり)

医療機関名	電話番号
瓜田外科胃腸科医院	☎76-3220
平館クリニック	☎74-3120
森整形外科	☎76-2318
吉田内科呼吸器科医院	☎70-1100
国保安代診療所	☎72-3115
国保田山診療所	☎73-2126
国保西根病院	☎76-3111
東八幡平病院	☎78-2511

- 接種方法 事前に医療機関へ電話の上、健康保険証または住所を確認できる書類を持参し、接種を受けてください。前回接種から5年以内に再接種すると、副反応が起きやすいのでご注意ください。詳しくは、県庁医療推進課(☎019-629-5466)まで。

古電話帳をリサイクル 回収にご協力ください

NTT東日本岩手支店では、12月中に順次、新しい電話帳をお届けします。現在お使いの電話帳は、配達員にお渡しください。不在などで渡せなかった場合は、後日改めて回収するのでご連絡ください。詳しくは、タウンページセンター(☎0120-506-309)まで。

できることから始めよう 冬期間も節電にご協力を

寒さが厳しくなってきました。電力各社では、震災に伴う発電施設復旧に全力を挙げていますが、冬期間も無理のない範囲で節電に取り組みましょう。

- 節電取り組み例 ①使っていないテレビなどは主電源を切る②電気ポットを長時間使わず、魔法瓶を活用する③便座や温水の温度を下げ、外泊時は電源を切る④炊飯器の保温機能を長時間使わない⑤冷蔵庫を壁から少し離す。熱い物は冷ましてから入れる⑥不在の部屋は消灯する⑦白熱電球はLEDに交換する⑧防犯や安全上支障ない屋外照明は消す⑨できるだけまとめて洗濯する。

節電について詳しくは、東北電力株式会社盛岡営業所(☎019-653-4967)まで。

松尾地区内保育所の 友達と一緒に遊ぼう

松尾地区の保育所は、保育所や幼稚園に通っていない幼児を対象に「保育所で遊ぼう会」を開催します。申し込みは各保育所まで。

- 松野保育所(☎74-2715) 12月22日(木)、午前10時から11時まで、クリスマス会を楽しみましょう。
- 寄木保育所(☎76-2020) 12月20日(火)、午前10時から11時まで、保育所の遊具で遊びましょう。
- 柏台保育所(☎78-2002) 12月14日(水)、午前10時から11時まで、同年代の友達と遊びましょう。

都市計画変更(案)の縦覧 12月7日から2週間実施

県では、都市計画の変更(案)について意見を伺うため、この案の縦覧を行います。

- 縦覧内容 都市計画区域の整備、開発および保全の方針(八幡平都市計画区域マスタープラン)、都市計画道路の変更(県決定の道路名称変更など)
 - 縦覧日時 12月7日(水)から21日(水)までの平日、午前9時から午後5時まで
 - 場所 県庁都市計画課、盛岡広域振興局土木部岩手土木センター(岩手町)、市役所建設課(松尾総合支所)、市役所西根地域振興課
 - 意見書の提出方法 住所、氏名、意見の要旨とその理由を記入し、県庁都市計画課(〒020-8570、盛岡市内丸10-1)へ、持参または郵送で提出してください。
 - 提出期限 12月21日(水)
- 詳しくは、県庁都市計画課(☎019-629-5886)まで。

北朝鮮による人権侵害 今も続く重要問題です

12月10日(土)から16日(金)までは、北朝鮮人権侵害問題啓発週間です。北朝鮮当局による拉致問題は、今も続く人権侵害問題であり、国際的に取り組むべき重要課題です。国では、政府インターネットテレビでアニメ「めぐみ」を公開するなど、啓発活動を行っています。詳しくは、内閣官房拉致問題対策本部(☎03-3581-9359)まで。

INFORMATION

お知らせ

詳しくは各担当、各機関に問い合わせを
八幡平市役所 ☎76-2111
松尾総合支所 ☎74-2111
安代総合支所 ☎72-2111
 ホームページはこちら
<http://www.city.hachimantai.lg.jp/>



【広告】

ぶらっと一日体験工房開催中！！



体験内容など
豆乳手打ちうどん、手前みそ、ヨモギのがん月、塩麴&料理づくり(試食会)、手打ちそば、ミニ量、漆絵付け(箸、皿) 体験料 1,500円~3,500円
 要予約 ※一人でも体験できる日は12月18日(日)
 担当 八幡平市商工会安代支所 Tel 0195-63-1001 Fax 0195-63-1011

この広告は、広告主の責任において市が掲載しているものです。広告の内容について市が推奨などをするものではありません。

八幡平市共通商品券5%プレミアム付き好評発売中！

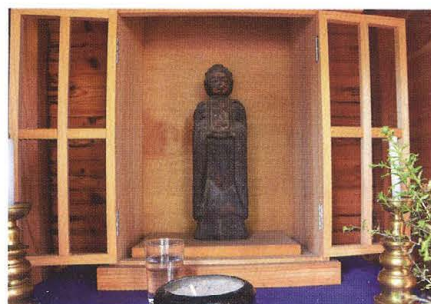
現金10,000円が
10,500円分の商品券に！
 (額面500円×21枚 10,500円分)
 ※1万円ごとに5%のプレミアムが付きます。
 住宅エコポイント及び市住老リフォーム助成に対応！

日ごろのお買い物、お中元、お歳暮、入学・卒業のお祝い、景品、お礼、お見舞いなどに幅広くご利用いただけます。
 八幡平市共通商品券とは
 額面500円で1枚から市内外どなたでも購入することができ、有効期限は、ご購入日より6か月以内に市内230以上のお店で使用することができます。

販売およびお問い合わせ先：八幡平市商工会(TEL76-2040)、松尾支所(TEL74-3020)、安代支所(TEL63-1001)

室のえにしに平八幡

(市内にある指定文化財を紹介します)



ごたい 五の平の大イチョウ

所在地：松尾寄木第27地割91番地2地内(高橋正蔵氏所有)
指定年月日：昭和50年10月11日(旧松尾村)

五の平の大イチョウは、推定樹齢170年、目通りの太さ(周囲)は5.55㍎と、先月紹介した井森のイチョウより若く小振りですが、樹高は21㍎あります(いずれも指定時)。この木もメスで、たくさんの実を付けます。樹下には正面に一面六臂の青面金剛が彫られた庚申供養の石仏(写真右上)が安置され、南側には木造の地藏菩薩像(写真右下)が納められた祠、北側には稲荷社が祀られています。字五の平付近は寄木の中心部で、昔から「中郡」と呼ばれてきました。駒形神社、稲荷神社、八幡神社、八坂神社などが天照皇太神宮(大神宮)を取り囲むように配置され、昔はここに「五大堂」と呼ばれる大地蔵堂があったと伝えられています。当時の山門跡と思しき場所には、現在も石造りのお地藏さんが鎮座し、その面影をとどめています。明治になって地藏尊は平館の大泉院の地藏堂に移されましたが、その大泉院も寛文五年(1665年)に寄木地内に創建されたものが、後に火事で消失したため平館の現在地に移転再建(年代不詳)されたもののだといひます。神社仏閣と巨木に囲まれたこの地の、往事の隆盛ぶりはいかばかりであったことでしょう。

(文・八幡平市文化財保護審議会委員 畑謙吉)

【参考文献】松尾の文化財(1980年、1983年村教委)、西根地方の文化財～松尾村の巻(1977年佐藤連蔵＝北光タイムス連載)、湧口と碑(1996年松尾村)、幡龍山大泉院誌(1981年護持会)、岩手郡の伝説(1979年太田忠雄)、野仏の見方(2003年小学館)、いわてのお寺さん(2003年テレビ岩手)

編集後記

寒さのせいか肩凝りがひどく、湿布など試してみましたが、結局は運動不足が原因。一念発起しウォーキングを始めたものの、10日後、雪が降って終了。雪のせいかな？いえ、「意志」が弱いだけ。▽統計調査員の宇土澤さんと北館さんが統計功労者として大臣表彰を受けました。2人とも調査員歴50年以上です。強い「意志」と「使命感」を持ってやってこられたのだと思います。本当におめでとございます。(齋藤)

2カ月ぶりの編集後記。10月は生まれて初めて入院を経験しました。関係する人々には、ご心配とご迷惑をおかけしました。▽今年こそ八幡平の紅葉を写真に収めようと意気込んでいたのですが、退院したときには見頃を過ぎていたと聞き残念。来年こそ「30代になると体が衰える」とは言われていましたが、自分の体の確実な衰えを実感しました。「風邪は万病の元」皆さんも体調にはお気を付けてください。(北口)

※広報はちまんたい12月1日号(No. 140)の印刷経費は1部43.47円(税込)です。経費の一部は広告料で賄われています。広告掲載については、市役所総務課広報統計係(☎・内線1218)まで。

